



中国鉄道事故に思う

中国高速鉄道事故

中国東部・浙江省温州で二三日夜発生した高速鉄道の衝突、脱線事故には驚かされましたね。最新の列車制御システムにより落雷で全列車が停車なら分かるが、猛スピードで走って追突とは・・・。

究明すべきことは沢山ある筈なのに

事故原因究明に叡智を注ぐのかと思つたら、いきなり列車を埋め始める：運転装置に問題はなかったのか？運転士は前列車の停止を知らされていたのか？知らせる装置は働いていたのか？追突したとしても、助かった人と死んだ人の差は何か？車体の製造に問題はなかったか。究明すべき事は沢

山ある筈なのに・・・。

トップが汚職

中国鉄道省の前トップは高速鉄道の建設に絡む汚職で解任。「汚職」ということは、金をもらって良い暮らしができること。そんなことを「人民中国」の幹部がするとはおかしいですね。

キューバの事情

この事件で思い出したのがキューバ事情。即ち「大臣も食料の配給の列に並んでいた」政府の高官でも特権は認めない、そこにキューバがアメリカのすぐそばで頑張っている事があると思いました。

【注】詳しくは築地書館の「世界がキューバ医療を手本にするわけ」を参照願います。

会津田島祇園祭



イギリス人女性イザベラ・バードの「日本紀行」によると、彼女は明治十年頃、日光から北上し、分水嶺を越え、会津田島を訪れた。そのルートをドライブ。

折しも、七月二二～二四日は、田島の「祇園祭」。京都八坂神社の祭礼に準じて徳川幕府のきた西暦一六〇三年から始まったと云う。

町内十二組の「お党屋組」が交代で運営。その組の党本の家前の小さな太鼓橋は神様が渡るものだ。

遠くの屋台では歌舞伎が演じられる。江戸時代重税にあえいだ農民が税の軽減を直訴して処刑された「南山義民の碑」の演目もある。歌舞伎の幕間には、この屋台に大勢の子供を乗せ、大通りを猛スピードで走る。